

2020.1.18~30

生物調査チーム順調に活動中です！

生物研究者・地衣類研究者、バクテリア研究者の2名が、天候不良で一週間遅れの1月15日にベルギー・Princess・Elizabeth・Antarctica・Base(以降PEA基地)に入りました。

諸々の訓練等を終え、1月18日から生物調査が始まり、私も“生物調査チーム”リーダー兼安全管理任務が始まりました。



【PEA基地をバックに記念撮影】

900ccのスノーモービルにそれぞれ乗り、四国とほぼ同じ面積のセール・ロンダーネ山地を西に東にと地衣類のサンプル調査、バクテリアの存在しそうな土壌サンプル調査に同行しています。

彼らが研究に専念できるような環境づくりに配慮しつつ、一緒に地衣類の生息していそうな場所や土壌サンプルに適した場所を探し、無名峰に登ったりしています。



【地衣類研究者・田留隊員】



【バクテリア研究者・林 隊員】



【地衣類のついた岩を岩石カッターで採集中の高村隊員】



【調査地へ向かう、林、田留隊員】

南極の自然



【たくさんの地衣類が足元に生息していました】



【残照・ユキトリトリデヤマ調査帰路風景】



【クレパスに注意しながら、ケテレス氷河奥・ドライバレーを目指して走行！】
ブログ情報 その 2-2
2020.1.18～30



【残照・ユキトリトリデヤマ調査帰路風景】



【クレパスに注意しながら、ケテレス氷河奥・ドライバレーを目指して走行！】
雄大な南極の自然に圧倒され、広大な氷河に点在するクレパスの恐怖に悩まされたり、未知のルートを探す行為は、登山の本質【パイオニアワーク】そのものだなと実感しています。



【壮大なスケールでつくられた・モレーン地形】



【ドライバレー源頭・懸垂氷河】



【移動用の 900ccスノーモービル】

スノーモービルの総走行距離も基地に着いてからすでに、1000kmを超えました！！



20世紀初頭シャクルトンにはじまった南極探検、アムンゼン、スコット、白瀬らの南極点探検に思いをはせながら、南極の自然を楽しむことができたと実感しながら日々を過ごしています。